



2021年9月1日発行 2021年9月号 (通算252号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2021～2022主題】

国際会長	キム・サンチェ	「Y's Men with the World」
アジア太平洋地域会長	大野 勉	「Make a difference beyond the 100th」
東日本区理事	大久保 知宏	「私たちは次の世代のために何ができるか？」
あずさ部長	長谷川 あや子	「道を拓く～愛と協力によって」
東京武蔵野多摩会長	渡辺 大輔	「原点に立ち返って何ができるか考えよう」

【クラブ役員】

会長	渡辺 大輔
副会長	小林 文彦
書記	山口 直樹
会計	宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)
D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2021年
9月の聖句

常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば

主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。

箴言第3章6節

ワイズメンズクラブモットー 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにY M C Aに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

9月例会の予定

強調月間：EMC

日時：9月8日(水)

19:00～20:30

会場：ZOOMにて開催

司会：中村

〈プログラム：懇親例会〉

- * 開会挨拶、点鐘、ワイズソング
- * ゲスト、ビジター、メンバー紹介
- * 卓話 加藤明宏さん 元名古屋YMCA総主事
愛知いのちの電話事務局長
- * 連絡、報告、にこにこ
- * 閉会挨拶、点鐘：渡辺会長

* 9月のハッピー・パステル 宮内・23日

8月例会報告

在籍者	10名
出席者	7名
メーキャップ	0名
出席率	70%
ゲスト(リーダー)	0名
ビジター	3名
メネット・コメント	0名
にこにこ	0円

コロナに思う(その4くらい)

山口 直樹

コロナに振り回され1年半以上たつ。ワイズではほとんど対面での会合などができず、もどかしい日々を送ってきている。この原稿を書いている時点(8/24)では全く先が見通せず、全国民が悶々とした日々を送っていることと思う。様々な視点があると思うが、コロナがもたらした事柄を少し考えてみた。

一番大きいことは、今まで恒例として行ってきたものが同じようには出来なくなり、考え直すチャンスをもたらした(?)ことではないかと思う。小中学校関係では、様々な行事が出来なくなり、1学期に2年ぶりに行えたものも数多くあった。運動会を覗く機会があった。時間の短縮や学年ごとの入れ替え、保護者の人数制限など例年に比べるとかなり簡素化したものであったが、参加している子どもたちの顔が本当にうれしそうに輝いていた。また、特に低学年の保護者の方は初めて学校内での子どもの様子が見られ、大変うれしそうであったことが印象的であった。

ある校長先生の話だが、子どもと学校、子どもと先生の距離が縮まって、子どもの居場所としての学校が見直されることにつながり、学校が本来的に持っているものを子どもも先生も見直すことになったのではないかとのこと。学校の持っている良さを改めて感じていくことができたとの報告を聞いた。子どもたちにとって、学校の存在を見直すチャンスとなったと思われる。ニュースなどで取り上げられることはマイナス面が多く取り上げられるが、私は、子どもたちのもとと持っている生きる強さが、この大変な状況を乗り越えさせてくれているのではないかと思う。

昨年の2月末に突然全国一斉休校となり、日本中の子どもたちや親、学校関係者が大混乱に陥ったことも思い出す。何のために取られた措置なのか、まったくもって意味不明と感じている。また、同じことが繰り返されないことを祈るばかり。

今できることは、自分たちで自分の身を守る行動をとることであろう。

<8月例会報告>

2021年8月14日 18:00~20:00 (Zoomにて)

出席者 渡辺、伊佐、板村、小林、中村、宮内、山口
長谷川(八王子)、山本(八王子)、中里(八王子)

コロナ禍、豪雨の中の納涼例会。原村こひつじ幼稚園の中村園長もズームで参加される予定であったが、長野県の豪雨のため避難の指示が出たりしたため欠席となった。様々なことが今の日本には起こっていると感じる時でもあった。

納涼例会ということで、途中から飲み物ありのリラックスした例会となった。

初めに、中村さんより現在クラブとして検討を始めているクラブファンづくりのためのメルカリについての説明があった。まず手持ちの本を出品することから始めていき、対面で会えるようになってから本格的に行っていくこととした。

懇談会では、一言メッセージを全員から頂いた。長谷川あずさ部長、山本八王子クラブ会長、中里八王子クラブ担当主事からそれぞれの視点からの言葉を聞くことは新鮮であった。各参加メンバーから、それぞれの感じていること、悩んでいること、これからの方向など飾らない言葉を聞き、久しぶりに話をした時間となったことは幸せであった。共通していることはコロナ感染の状況で様々な悩みながら日々過ごしていることであった。

対面での例会ができないでいる時に全員の生の声を聴くことのありがたさを再認識できた例会であった。

(山口直樹)

8月例会の様子



<東京YMCA便り>

▼第6回平和展「長崎原爆被災写真パネル展」

7月7日(水)~16日、東陽町コミュニティーセンターで開催した。平和といのちの大切さを訴えるために毎年行っているもので、これまでは広島市の被災状況や子どもたちの絵画を展示してきたが、長崎のことも知ってほしいとの願いから、6回目となった今回は長崎原爆資料館からお借りした写真41点を展示した。

▼パラリンピック採火式

8月24日から開催された東京パラリンピックの聖火を全国各地でおこす「採火式」に、江東区内の高齢者施設を代表して、東京YMCAが運営するグランチャ東雲(江東区児童・高齢者総合施設)が協力した。8月20日に江東区文化センターで開催された採火式に、菅谷淳総主事とグランチャの口原恵美子館長が出席し、事前にグランチャ東雲の来館者にパラリンピックへの思いなどを記してもらった短冊を燃やしランタンに点火した。

▼今後の予定

・第35回インターナショナル・チャリティーラン 個人参加:10月16日~22日/チーム参加:10月23日~31日
(コロナ禍のため、スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催します。)

(出沼一弥)

今後のクラブ行事予定

9月8日(水) 19:00-20:30 9月例会
(卓話:加藤明宏さん 愛知いのちの電話事務局長 元名古屋YMCA総主事)

9月22日(水) 第2例会(事務会) 19:00-

10月13日(水) 19:00-20:30 10月例会

例会については、コロナの状況を見ながら、西東京センターとZOOMでのハイブリッド例会を秋頃から開催できるよう検討していきます。